

# 意思疎通支援の架け橋づくり

～ 多様なコミュニケーション障害への支援方法を探る ～

日時

2016年 **12月1日(木)**

12:30～16:00 (12:00より受付開始)

**入場無料**

**事前登録制**

会場

**星陵会館ホール**

保健医療福祉職の方だけでなく、  
一般の方もご参加いただけます。

意思疎通(コミュニケーション)は、ひとが「どこで、誰と、どのように生活するか」を選択するために重要です。そのため、**コミュニケーションに困難を抱える人々への支援**として、「手話通訳や要約筆記」・「触手話や指点字」・「代読や代筆」・「絵カード等を用いたコミュニケーション」・「透明文字盤やメカニカルスイッチを使ったコミュニケーション支援」など、さまざまな手法が開発・工夫されてきています。

本シンポジウムでは、ALS(筋萎縮性側索硬化症)・筋ジストロフィー等の難病や、聴覚障害、知的障害、発達障害を中心に、平時だけでなく災害時の継続的な支援も視野に入れ、多様なコミュニケーション障害への支援方法を探ります。

総合司会・座長

橋 とも子

【国立保健医療科学院研究情報支援  
研究センター 上席主任研究官】

座長

水島 洋

【国立保健医療科学院研究情報支援  
研究センター 上席主任研究官】

演者

(敬称略、五十音順)

「東日本大震災時に広域搬送を行った  
患者のその後の療養状況」

今井 尚志【医療法人徳洲会仙台徳洲会病院 ALS ケアセンター長】

「知的障害者への情報保障・コミュニケーション支援」

打浪 文子【淑徳大学短期大学部こども学科 准教授】

「発達障害とコミュニケーション支援」

大塚 晃【上智大学総合人間科学部社会福祉学科 教授】

「重度身体障害者(ALS, 筋ジストロフィーなど)の  
コミュニケーション支援の取り組み」

口文字法、透明文字盤、メカニカルスイッチおよびサイバニックスイッチまで

中島 孝【国立病院機構新潟病院 副院長(神経内科)】

「聴覚障害とコミュニケーション支援」

早瀬 久美【昭和大学薬局 薬剤師】

【主催】平成28年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業  
(身体・知的等障害分野)「意思疎通が困難な者に対する情報保障の効果的な  
支援手法に関する研究(研究代表者:橋 とも子)」研究班

【お問い合わせ先】公開シンポジウム「意思疎通支援の架け橋づくり」事務局

国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター (研究代表者)橋 とも子 〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

Fax:048-458-6197 E-Mail:ishisotsu@niph.go.jp

## 参加申込み方法

①専用ホームページから申込み  
下記専用ホームページの参加申込  
フォームから。

②FAXで申込み

裏面の参加申込フォームにご記入の上、FAX送信してくだ  
さい。



## 申込受付期間

2016年

**10月14日(金)～11月15日(火)**

## 定員 300名

(先着受付登録順。定員に達し次第、申込み終了とさせていただきます)  
(介助の方もご登録をお願いします)

## 【注意・連絡事項】

- ※当日は、事務局返信の「参加登録書」を受付にご提出ください。
- ※インターネット中継あり。
- ※駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮ください。
- ※会館内には飲み物の自動販売機がございませんので、あらかじめご了承ください。(ホール内飲食禁止)

手話通訳・要約筆記  
磁気ループ  
を用意しております。



## 演者紹介



国立保健医療科学院研究情報支援研究センター 上席主任研究官

**橋 とも子** (たちばな・ともこ)

都区の公衆衛生行政医師を経て現職。エビデンスに基づく障害保健福祉医療政策研究を実施中。日本公衆衛生学会認定専門家。疫学、人材育成、健康危機管理。



医療法人徳洲会山台徳洲会病院 ALS ケアセンター長

**今井尚志** (いまい・たかし)

神経難病患者の自律を育むチーム医療を長年にわたり実践。日本神経学会の ALS 治療ガイドライン (第一版) 作成メンバーで学会指導医。



淑徳大学短期大学部こども学科 准教授

**打浪文子** (うちなみ・あやこ)

国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部を経て現職。専門分野は社会福祉学・社会言語学・特別支援教育学・障害学等。



上智大学総合人間科学部 社会福祉学科 教授

**大塚 晃** (おおつか・あきら)

厚生省児童家庭局、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課を経て現職。[発達障害者支援法・特集子どもの心 (1)、母子保健情報。2006; 54:74-78.ほか]



国立病院機構新潟病院 副院長 (神経内科)

**中島 孝** (なかじま・たかし)

医療用 HAL の医師主導治療の総括責任者。重度障害者のコミュニケーション支援機器の実用開発研究を実施中。神経内科、臨床遺伝専門医。



昭和大学薬局 薬剤師

**早瀬久美** (はやせ・くみ)

聴覚障害者。2001年欠格条項撤廃運動によって薬剤師免許を取得。スポーツファーマシストとしてアスリート支援および自身も自転車競技選手としてデフリンピックを目指している。

## 交通アクセス

### 〈会場〉星陵会館

〒100-0014 東京都千代田区 永田町2丁目16-2  
Tel: 03-3581-5650

### 〈交通のご案内〉

- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅6番出口より 徒歩3分
- 東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅 5番出口より 徒歩5分
- 東京メトロ南北線 溜池山王駅5番出口より 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・丸の内線 赤坂見附駅11番出口より 徒歩7分

※駐車場はございませんので、車でのご来館はご遠慮ください。



## 参加申込フォーム 〈ご記入の上、この用紙は切り離さず、このまま送信してください。〉

### ●参加者ご本人に関する情報をご記入ください。

(ふりがな) お名前	
ご所属	
ご連絡先 FAX番号 (参加登録完了の連絡に使用します。お間違えないようお願いいたします)	— —

### ●あなたのお立場を教えてください。(複数選択可)

- 1. 障害者ご本人
- 2. 介助者 ( 介助対象者のお名前 )
- 3. 医療従事者 4. 行政関係者 5. 研究者 6. 障害者・患者団体
- 7. その他

### ●お持ちの障害をお選びください。(複数選択可)

- 1. 聴覚障害 2. 視覚障害 3. 言語機能障害
- 4. 音声機能障害 5. 失語障害 6. 知的障害
- 7. 発達障害 8. 高次機能障害 9. 身体障害
- 10. 難病 11. その他 ( ) 12. なし

### ●次の中から必要な項目をお選びください。(複数選択可)

- 1. 手話通訳 2. 要約筆記 3. 磁気ループ
- 4. 車いすスペース 5. その他 ( ) 6. なし

### ●その他特記事項がございましたら下記にご記入ください。

( )

参加申し込みで提供された個人情報、本シンポジウムの運営と個人を特定しない各種統計資料の集計処理を行うために利用し、ご本人の承諾なしに第三者に開示することはありません。

## 事務局からの返信を以て参加登録が完了となります。

専用ホームページからも参加申込みができます。 [専用ホームページ] <http://www.niph.go.jp/topics/sympo1201.htm>

Fax: **048-458-6197**

(公開シンポジウム「意思疎通支援の架け橋づくり」事務局)